

★人権標語—優秀作品★

1年生

気付こうよ 指先だけで 傷付ける
世の中の 差別の階段 平坦に
その言葉 僕にとっては 銃弾だ
救えるよ 一緒にしよう! この言葉
☆コロナでも not 心のディスタンス

2年生

思いやり 笑顔が広がる おまじない
違うよね あなたの普通と あたしのは
消さないで 人間(ヒト)の心のあたたかさ
☆生き方は 自分自身で 決めて良い
☆偏見に 感染させない ハート持ち

3年生

咲かせよう 個性の花を 満開に
思いやりは 誰でもできる ボランティア
笑顔咲く 魔法の言葉 ありがとう
☆ディスタンス 距離をとっても心は一つ
☆一言の 優しい言葉が 救いの手



(☆印の作品は、令和3年度 大田市人権に関する標語募集事業に応募しました)

夏休み作成してもらった標語を2学期中に選考しました。上記の15作品を校内の優秀作品としましたので紹介します。心に響く作品が多く選考には苦戦しましたが、この15作品は、わかりやすくまっすぐに思いを伝えてくれているものではないでしょうか。校内で掲示したり、便りなどで活用させてもらいますね。生徒の皆さん、ありがとうございました!

標語に限らず、**自分の思いや考えを表現する**って、大切ですよ。学校生活において私たちは、自分の思いや考えを述べる場・伝える場を大切にしているのでしょうか。そしてクラスメイトや仲間が何か伝えようとしているその姿勢を、尊重できているのでしょうか。皆さんには、思いや考えを表現する権利があります。とは言っても、それは、誰かを攻撃したり不幸にしたりするための権利ではありません。**どうしたら誰もが「幸せ」に生活することができるのか**、その「幸せ」を実現するために、一人ひとりの権利をぜひ行使して下さい。

(裏面あり)

【2学期 人権に関するホームルーム活動】

◎1年生：ネットやSNS上でのコミュニケーション

1年生は、インターネット上のコミュニケーションについて考え、インターネットはその特性上、人権侵害やトラブルを生じさせやすいこと、だからこそ相手の立場に立って相手の気持ちを想像・尊重する必要があることを学びました。

《感想より》

- ① どんなに自分が悪くないと思っても他人から見ると人を傷付けたり人を嫌な気持ちにさせたりするので、インターネット上の発言はよく考えておこないたいし、誰かを傷付けている発言があれば注意したいと思いました。
- ② SNSは色々な人を見ることが出来るから、どこに拡散されるかも分からずに多くの人に知れ渡ることになり、学校に来れなくなったり最悪の状況になることもあるから、気軽に何でも載せてはいけないと思いました。
- ③ SNSは便利なものだけど、自分の感情が伝わりにくかったり、相手の感情を間違って読み取ることもあるから、とても怖いと思いました。きとんとコミュニケーションをとろうと思いました。



◎2年生：部落差別の歴史と現実から学ぶ②～水平社宣言から学ぶ～

2年生は、年間を通して部落差別の問題について学んでいます。今学期は、水平社宣言の歴史を学びながら、「なぜ差別は克服できなかったのか」、「差別されてきた人々が求めてきたことは何だったか」等を考えました。

《感想より》

- ① 差別が消えなかったのは、差別の原因や責任を差別される側に押しつけていたからなのだとわかりました。間違ってるのは差別する側なのに、国なども誤った政策を続けたことで長い間差別された人がいたというのは悲しいことだと思いました。
- ② 差別は、人の心理的な弱さから生まれるんだなと改めて感じました。差別を受けてきた人に変化を求めるなどは、やはりしてはならないなと思います。
- ③ 僕自身も、相手より優位にいたいとか悪いのは相手のほうだとかいう考えは、無意識に自分を守るためにしてしまっているなと思ったので、直していきたいと思えました。

水平社宣言において、差別されてきた人々は、「同じ人間として対等に接し、人間の尊厳そんげんを守ること」を求め、世の中に、「人間的なぬくもりと希望の光」を求めました。「自分自身にできることって考えたとき、正直わかりません」と感想を書いた人もいましたが、皆さんにできることはたくさんあります。ひとつは、あなたのそばにいるその人を、大切に思い、優しく接することです。その思いを受け取った人が、また他の誰かを幸せにできます。あたたかな、意志のある人権標語を書いてきてくれる皆さんです。皆さんの、人を幸せに出来る力を信じています！

(*この便りは持ち帰り、家庭で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇)